

平和構築における日本の役割

- 日本の良さを世界のために -

2008年6月11日
東京国際大学
「国際教育プログラム」セミナー
外務省国際平和協力室長
紀谷昌彦

伝えたいこと

- 今なぜ平和構築なのか？
- 日本にとって平和構築とは何か？
- 日本は如何に取り組むべきか？
- 私たちは何ができるか？

今なぜ平和構築なのか？

- 冷戦の終結 宗教・民族対立等に起因する地域紛争・内戦の増加
 - 脆弱国家 / 破綻国家に
 - アフリカ、アジア、中東、中南米にも
- 様々な場で取組が推進
 - 国連（平和への課題、ブラヒミ報告、国連平和構築委員会）
 - 国連諸機関、世界銀行、OECD開発援助委
 - G8プロセス



日本にとって平和構築とは何か？

- 安全保障上の必要性（アジアのみならず中東・アフリカも）
 - 政治的安定
 - テロとの闘い
 - 資源・エネルギー確保
- 日本が目指す普遍的価値を世界に実現
 - 平和国家日本の理念（新しい日本の自画像）
 - 明治開国・戦後復興・経済協力の経験
 - 特に今年、アフリカ開発会議 & G8 サミット

「平和協力国家」の提唱（本年1月・福田総理）

日本は如何に取り組むべきか？

1. 現場における取組の強化
 - 国際平和協力の推進
 - ODAの拡充
2. 知的リーダーシップの推進
3. 平和構築を担う人材育成



1. 現場における取組の強化（国際平和協力の推進）

- 国連PKO等への積極的な貢献
 - PKO法（カンボジア、モザンビーク、ゴラン高原、東ティモール、ネパール等）
 - 給油新法・イラク特措法
 - 文民派遣（ミンダナオ、アフガニスタン等）
 - 非ODAの資金協力
- 国際平和協力に関する法的枠組みの整備
- しかし、人的貢献は限定的



1. 現場における取組の強化 (ODAの拡充)

- ODA大綱の重点課題積極的に推進
- 様々な援助手法及び体制の整備(例:現地ODAタスクフォース)
- 機動的・効率的な援助の実施(例:自衛隊とODAは車の両輪)
- しかし、ODA減の影響大



2. 知的リーダーシップの推進

- 基本的考え方: 平和の定着と国づくり
 - 全ての紛争は異なる - 個別的アプローチ
 - オーナーシップ(当事者の能力・意思)とパートナーシップ(関係者の連携・協力)
- 治安の確保 地雷・小型武器、法整備
- コミュニティの再建 人間の安全保障
- 国家の再構築 国づくり・人づくり
- 経済開発 インフラ整備、ビジネス推進
- 実践と発信(平和構築委員会、アフリカ開発会議、G8サミット、シンポジウム等&現地)

3. 平和構築を担う人材育成

- 平和構築人材育成パイロット事業(広島平和構築人材育成センター)
 - 日本人・アジア人研修員計約30名
 - 国内研修・海外実務研修・就職支援
 - シンポジウム等の発信も
- 「平和構築分野の人材育成と研究・知的貢献の拠点」の構築に向けて
 - 本格事業化
 - 関係省庁・機関との連携



私たちは何ができるか?

- 「パラダイス鎖国」から「世界と生きる日本」へ
「日本の良さを世界のために」、そして
「平和って、みんなで作るものなんだ。」



- 勉強: 本を読むだけではない。人と会う。現場を見る。そして、情熱を持つ。
- 実践: 学生ならではの発信と貢献ができる。実践して初めて学べる。挑戦への第一歩。
- 将来の仕事: 政府・国際機関・NGOのみならず、様々な企業を含め幅広い視野を。
いつも「ワクワク・ドキドキ」を大切に!

お勧めの本

- 日本語で手軽に・・・
大芝亮・藤原帰一・山田哲也編
「平和政策」(有斐閣・2006年)
- 英語が読めれば・・・
Paul Collier "The Bottom Billion"
(Oxford University Press, 2007)
* 近日中に邦訳が出るはず

ネットワークを広げたい人へ

- 外務省(基礎情報)
 - <http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 平和構築フォーラム(リソースとコンタクト)
 - <http://www.peacebuilding.jp>
- 国連フォーラム(国連の視点から)
 - <http://www.unforum.org>
- kiya.net ブログ(実践のヒント)
 - <http://www.kiya.net/blog/>

ご質問等は、masa@kiya.net へどうぞ。